

県民意見提出制度による提出意見とそれに対する県の考え方

No.	項目	意見の内容(概要)	意見数	県としての考え方
計画全般				
1	ビジョンの方向性の合意形成と確立	・山梨の地元目線による新しい地域像を創り出すこと、首都圏に近いと同時にライフスタイルにおいては一線を画す山梨をブランディングする事が必要であり、山梨ビジョンの方向性の合意形成と確立が大切。	1	【記述済み】 ・第2章3基本理念において、目指すべき本県の姿を「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」としました。この目標に向け、第3章3計画の推進に記述しましたように、多様な主体とのパートナーシップにより、取り組んで行くこととしています。
2	総合計画の頁数	・計画は88頁もあり、県民にそれを読んでもらうというやり方は、県民の多くの人達から意見をもらいたいという姿勢に疑問を持つ。 ・もっと頁を少なくするべき。	1	【その他】 ・山梨県が置かれている現状や課題、本計画が目指している本県の姿、それに向けた取り組みの方向性と具体的な取り組み等について、しっかりと説明した内容により、県民の皆様から御意見をお聞きしたいと考えたため、88頁の素案となりました。
3	山梨らしさの表現	・全体的には、総合的に網羅しているが、山梨らしさは出ておらず、ワクワク感がない。	1	【その他】 ・第2章42040年の山梨県の将来像において、本計画が目指している約20年後の姿をお示しし、3基本理念にも記載しました「一人ひとりが抱く夢や希望を実現できる県、もっと豊かさを実現できる県」の実現に向け、県民の皆様と一緒に取り組んで行きたいとしています。
戦略1 攻めのやまなし成長戦略				
4	産業の柱の明確化	・産業にメリハリがなく、ただ産業別に書いてあるだけの資料にしか思えず、個別の施策まで記載してもらいたい。 ・医療産業、精密機械産業、エネルギーを産業の柱とするように思えるが、大企業群を柱に、産業のすそ野が広がる総合計画であって欲しい。 ・それにより、産業を支える人材育成についても目標が明確化される。	1	【その他】 ・最終的な計画においては、主な施策についても記載する予定であり、その中で具体的な取り組みについて記述いたします。
5	企業の集積による快適で過ごしやすい街づくり	・新たな製造業の立地による甲斐市の空き工場解消を進める。 ・オフィスビルで足りるベンチャー、オンラインビジネス企業の誘致による甲府市中心部や県内JR駅周辺におけるオフィス街の形成により、東名阪の再開発のような数点のオフィスの集合体で「〇〇〇〇FU」のようなビジネスタウンを形成すべき。 ・若年女性が働きたい業種を地方拠点に優先誘致すれば、若年就活生のリクエストに対応でき、良いイメージが浸透するのではないかと。 ・以上により、東京以上に快適で便利で過ごしやすい地方都市を目指すべき。	1	【その他】 ・本計画では、目指すべき本県の姿として、「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」を設定しました。 ・これを実現していくためには、いただいた御意見のように若年世代の県内定着が重要であると考えており、その旨は第2章4(6)人口の将来展望にも記載しております。 ・また、これを実現していくため、戦略1や戦略3に記載した政策をはじめ、あらゆる施策・事業を動員して取り組んで行くこととしています。
6	山梨の特性を活かした企業誘致	・大企業だけでなく先端優良中小企業を誘致し、テレワークオフィス、サテライトオフィス等、ワークスタイル実験エリアを空き家対策などと絡めて整備する。 ・やまなしの自然、気候を生かすことができる企業を県としてバックアップする。	1	【実施段階検討】 ・戦略1攻めの「やまなし」成長戦略の政策1「やまなしを牽引する産業の育成」において、民間資本の誘致などにより次代を担う産業の育成を図ることとしています。 ・また、戦略3活躍「やまなし」促進戦略の政策1「誰もが個性や能力を発揮できる環境の整備」において、広く男性も女性も働きやすい職場環境づくりを進めることとしておりますので、これらの施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
7	ピクトグラムの活用	・現在山梨県にあるピクトグラムは統一性がなく、また誰が見てもわかるものではない。公共施設でもわかりづらい表示が多くある。 ・2020年のオリンピックに向けて、海外からの旅行者など、すべての人にとってわかりやすいピクトグラム(JIS規格Z8210)を取り入れ、山梨県内で統一すべき。	1	【実施段階検討】 ・戦略1攻めの「やまなし」成長戦略の政策2「観光産業の振興」において、アジアを中心としたインバウンド観光への対応などに取り組んで行くこととしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。

No.	項目	意見の内容(概要)	意見数	県としての考え方
8	地元食材や料理の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「富士の介」など「新たな食の提供」も大切だが、山梨県には自然や歴史的背景と結びついた美味しい食べ物も存在するので、それを、うまく活用できないか。</li> <li>・インバウンドにも対応し、より多くの方々に地元食材や料理を楽しんでもらえるよう工夫を加速すべき。</li> <li>・60頁に以下の語句を例示として加えてはどうか。「地元特産の食材・料理などといった」</li> </ul>	1	<p>【修正加筆等意見反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・p60戦略1攻めの「やまなし」成長戦略の政策2「観光産業の振興」の政策の基本的な考え方に、以下の語句を追加します。</li> <li>「地元特産の食材や料理、」</li> </ul>
9	東南アジアからの観光客の受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ムスリム人口が多い東南アジアからの観光客が増えているが、その受入環境はまだ不十分であり、それが県内観光消費額停滞の一因となっている。</li> <li>・60頁に以下の語句を加えてはどうか。「その一環として、東南アジアに多いムスリムなどの他宗教に対応したサービス促進を図る。特に、県内飲食店および食料品店におけるベジタリアンフードやハラルフードの提供、礼拝所の設置等を推進し、外国人観光客の受け入れ環境向上を目指す。」</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略1攻めの「やまなし」成長戦略の政策2「観光産業の振興」において、アジアを中心としたインバウンド観光への対応などに取り組んで行くとしていきますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
10	地域通訳案内士の防災対応の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域通訳案内士を導入してインバウンド観光戦略を推進しているが、研修内容に防災関係の項目が含まれていない。</li> <li>・安心安全な観光産業とは言えない状況にあるため、地域通訳案内士への防災対応の教育を明記すべき。</li> <li>・60頁に以下の語句を例示として加えてはどうか。「防災対応能力を高めつつ、」</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略1攻めの「やまなし」成長戦略の政策2「観光産業の振興」及び戦略5快適「やまなし」構築戦略の政策2「災害に強い強靱な県土づくり」に関する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
11	ユニバーサルデザイン化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、日本の観光業は、転換期を迎えており、外国人を含め、様々な条件を持った人たちが観光の主要なターゲットとなっている。</li> <li>・そのため、老若男女、障害、国籍など、異なる条件を持つ人々のニーズにも応じていくため、観光分野におけるユニバーサルデザイン化を推進していくことが重要となってくる。</li> <li>・ピクトグラムの導入などにより、国の「ユニバーサルデザイン2020行動計画」を取り入れ、観光地や施設のユニバーサルデザイン化に力を入れるべきである。</li> <li>・60頁に以下の語句を加えてはどうか。「山梨県の観光分野において「ユニバーサルデザイン2020行動計画」を取り入れ、ユニバーサルデザイン化を進める。」</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略1攻めの「やまなし」成長戦略の政策2「観光産業の振興」において、観光産業の「稼ぐ力」の向上や、アジアを中心としたインバウンド観光への対応などに取り組んで行くとしていきますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
12	新たな観光資源の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨でなければ出来ない観光の「山梨スタイル」の確立のため、今ある観光資源のPR等進めると共に、新たな観光資源の開発を考えることが必要。</li> <li>・例えば、甲府駅周辺の既存建物の屋上を利用した交流施設の企画、観光地や市町村の見どころをバーチャルに伝えるGPSを利用した企画、連泊を促す地元伝統技術などにふれられる体験型観光スタイルの提案、ワインにおけるテロワール“原産地呼称制度”による商品開発(ブランディング)など。</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略1攻めの「やまなし」成長戦略の政策2「観光産業の振興」において、山梨の強みを生かした地域資源の磨き上げに取り組んで行くとしていきますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>

No.	項目	意見の内容(概要)	意見数	県としての考え方
13	歴史的建造物の観光資源化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、地域固有の魅力を発信する拠点として、歴史的建造物の観光資源化に期待が高まっている。</li> <li>・歴史的建造物の民間企業やNPOと連携した利活用は、地域文化を継承することだけに留まらず、地域活性化やインバウンド対策の観点からも大きな役割を果たす。</li> <li>・そのため、歴史的建造物を民間と連携し、観光資源として活用していくことは、極めて重要。</li> <li>・60頁に以下の語句を加えてはどうか。「や歴史的建造物」</li> </ul>	1	<p>【修正加筆等意見反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・p60戦略1攻めの「やまなし」成長戦略の政策2「観光産業の振興」の政策の基本的な考え方に、以下の語句を追加します。「や歴史的建造物」</li> </ul>
14	林業の成長産業化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在来一般的な柱梁材、板材などによる山梨方式の施工技術の開発や、CLT等の大規模生産施設がいない加工法によるパイロット計画として、移住者の為の低層木造住宅団地等の具体化や県産材ユニットによる災害時仮設住宅のストックなどが考えられる。</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略1攻めの「やまなし」成長戦略の政策4「林業の成長産業化」において、「伐って、使って、植える」という森林資源の循環利用に向けた取り組みを推進するとしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
15	県内企業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国などの補助を受けた県内の企業が、競争に負けて撤退するような最悪な事態に陥らないよう、注意深く、経営状況を把握し、次の手が必要ならそれらの措置の検討を加えてもらいたい。</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略1攻めの「やまなし」成長戦略の政策4「林業の成長産業化」において、「伐って、使って、植える」という森林資源の循環利用に向けた取り組みを推進するとしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
16	甲府の中心街への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県都甲府について、県は、甲府の中心街について計画があるのか、ないのか、関心がないのかよくわからない。</li> <li>・県庁を含めた中心部で働く人が、公共交通の革命などにより、積極的に街に出るようにしてもらいたい。</li> </ul>	1	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県では、平成24年3月に甲府市と共同で、甲府駅南口周辺地域修景計画を策定し、県都の玄関口にふさわしい、まちなみ景観の向上を図ることとしました。</li> <li>・この計画に基づいて、甲府駅南口駅前広場の再整備や平和通りの再整備、甲府城周辺地域の活性化について、それぞれ実行計画を策定し、再整備等に取り組んでおり、平成29年度には甲府駅南口駅前広場の再整備が完了しました。</li> <li>・今後も甲府駅南口周辺地域修景計画に基づいて、甲府市中心街における集客の核となる可能性がある南口周辺地域における必要な整備を行っていきます。</li> </ul>
戦略2 次世代やまなし投資戦略				
17	英語、中国語教育を柱に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨特有の教育として、25人学級ではなく、グローバル時代に対応した英語と中国語の教育を柱にしたらどうか。</li> </ul>	1	<p>【反映困難】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略2次世代「やまなし」投資戦略の政策1「一人ひとりの個性を生かした教育の推進」に記載しましたように、家庭の経済環境などによる教育格差を生じさせることなく、一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い教育の実現を本計画の柱のひとつとしたいと考えております。</li> <li>・しかしながら、グローバル化への対応は重要な課題であり、この戦略2政策1や戦略3活躍「やまなし」促進戦略の政策3「地域へのひとの流れの強化」の施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
18	高等専門教育機関の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学と連携した、大学生、一般社会人、復職希望者を対象とした高等専門教育機関の設置。</li> </ul>	1	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略2次世代「やまなし」投資戦略の政策2「産業を支える人材の育成・確保」において、産業界との連携などにより、地元で活躍する人材の育成を進めることとしています。</li> <li>・そのため、既存の産業人材育成のための教育機関等を十分に活用しながら、必要な人材の確保を図っていくこととしています。</li> </ul>
19	総合的なスポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツは国体を契機として捉え、健康面における医療政策との連携など、総合的に考えてみてはどうか。</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略2次世代「やまなし」投資戦略の政策3「文化芸術やスポーツの振興による可能性の発揮」において、スポーツの振興を推進し、自己の可能性を最大限に発揮して自分らしく豊かに暮らすための地域づくりの実現につなげていきますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>

No.	項目	意見の内容(概要)	意見数	県としての考え方
<b>戦略3 活躍やまなし促進戦略</b>				
20	県民の意識改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他都道府県からの移住者を「ヨソモン」として除け者にする空気や、目先の利益に夢中になり、将来性を軽視する、新しいものを拒絶するといった考え方が多い。</li> <li>・このような超内向的な閉鎖社会の撲滅が望まれ、きちんと正しく丁寧にやる教えや余裕を持って譲れるマナーを徹底的に浸透させるべき。</li> <li>・無尽風習そのものを維持活発化させたいのなら、他県の地域コミュニティに習って条例で改良進化させるべき。</li> </ul>	1	<p>【記述済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略3において、これまで住んでいた人も新たに住むようになった人も、誰もが生涯を通じて地域で活躍できる環境づくりを進めることとしています。</li> <li>・また、戦略5において、コミュニティの活性化などの取り組みを進めていくこととしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
21	企業の集積による快適で過ごしやすい街づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年女性が働きたい業種を地方拠点に優先誘致すれば、若年就活生のリクエストに対応でき、良いイメージが浸透するのではないかと。</li> <li>・以上により、東京以上に快適で便利で過ごしやすい地方都市を目指すべき。</li> </ul>	1	<p>【記述済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章3計画の推進(2)まち・ひと・しごと創生総合戦略としての取り組み、基本目標2及び基本目標3の部分で、若年層を中心としたUターンを促すこと、女性がその能力と意欲を存分に発揮し活躍できる社会の構築に取り組むこととしています。</li> </ul>
22	老若男女問わない移住定住促進策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢性別人口流出率の高い20代30代女性にターゲットを絞りながらも、老若男女問わない移住定住促進策として、いろいろな働き方に対応できるテレワーク、ワークシェアリングの促進と同時に、データによる暮らし易さの見える化を図る。</li> <li>・また、行政、医療、保育、カフェ、美容院などを含んだ「コミュニティコア」の設置。</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略3活躍「やまなし」促進戦略の政策3「地域へのひとの流れの強化」において、地域の活力を維持し、地域経済の担い手を確保していくためには、県内へのひとの流れを強化していく必要があることとしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
<b>戦略4 安心やまなし充実戦略</b>				
23	タバコ対策・受動喫煙対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命の延伸、健康づくりにとって、タバコ対策・受動喫煙対策は飛鳥対効果も高く、極めて重要。</li> <li>・改正健康増進法で対策は進むとしても、不十分点が多くあり、県独自条例により、法と条例の両輪で、受動喫煙ゼロを進めたらどうか。</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略4安心「やまなし」充実戦略の政策1「健康・命を守る保健医療の確保」において、県民一人ひとりの生活の質の向上を図るため、がんなどの疾病対策、生活習慣病予防などを進めることとしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
24	相互互助タウンの建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内大学周辺に老人施設と大学生アパート、地域住民コミュニティ施設が併設された相互互助タウンの建設。</li> </ul>	1	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略4安心「やまなし」充実戦略の政策2「地域で安心して自分らしく暮らすことができる福祉の充実」において、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、地域共生社会を実現していくこととしています。</li> <li>・そのため、まずは地域福祉を支える人材の確保・育成や、多様な主体との連携などに取り組んでいきます。</li> </ul>
25	「甲武信ユネスコエコパーク」の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「甲武信ユネスコエコパーク」の登録が決定されたが、認知度が十分でない。</li> <li>・そこで、甲武信ブランド推進WGにおける取り組みとして、甲武信ユネスコエコパークのロゴの作成を優先して推進することを実行計画に明記することが望まれる。</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略4安心「やまなし」充実戦略の政策3「環境と調和した持続可能な社会への転換」において、限りある資源の循環的な利用を基調とする持続可能な社会を構築していくこととしておりますので、甲武信ユネスコエコパークにおいて生態系の保全と持続可能な利活用の調和を図るための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> <li>・なお、ロゴマークについては、現在、作成中であり、今後、ロゴマークを活用して積極的に広報PRを行っていきます。</li> </ul>
<b>戦略5 快適やまなし構築戦略</b>				
26	公共交通機関の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のバス・JR・富士急行線に加え、専用道BRTやLRT・モノレール等新交通導入により、マイカー通勤を減らして朝夕の渋滞解消を狙う等、利便性の向上などにより、公共交通需要増加を狙うべき。</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略5快適「やまなし」構築戦略の政策1「産業・生活を支える交通インフラの充実」において、公共交通の確保や公共交通を補完する新たな交通サービスの導入に向けた取り組みを進めることとしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>

No.	項目	意見の内容(概要)	意見数	県としての考え方
27	中央線の更なる活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直面している人口減少に対して、リニアの開業による転出入の改善、企業誘致による就業人口の増加など、戦略2政策2の「産業を支える人材の育成・確保」は、かなり重要な観点である。</li> <li>・そこで、中央線の高速化を図り、首都圏への通勤化を進め、定住人口の増加や企業誘致の調和による就業人口の増加も検討のひとつとして考えられないか。</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略5快適「やまなし」構築戦略の政策1「産業・生活を支える交通インフラの充実」において、公共交通の確保や公共交通を補完する新たな交通サービスの導入に向けた取り組みを進めることとしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
28	高齢者の交通手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、高齢者ドライバーの事故が多発しているが、県内に住む多くの高齢者の方々が買い物や病院などの外出をする際、移動する手段は車しかない。</li> <li>・県内のバスや鉄道は、運行本数が少なく、山間部に行けば行くほど、本数が激減しております。免許を返納したくても、できない実態がある。</li> <li>・そのため、バスの運行本数を増やすことや、鉄道等の整備が必要。</li> <li>・特に、丹波山と塩山を結ぶバス、中央線以外に首都圏と結ぶ鉄道が必要ではないか。</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略5快適「やまなし」構築戦略の政策1「産業・生活を支える交通インフラの充実」において、公共交通の確保や公共交通を補完する新たな交通サービスの導入に向けた取り組みを進めることとしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
29	水害に強い甲府盆地創り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップでは、甲府盆地南側は5Mを超える浸水地域になっており、昨今の地球温暖化による降雨量の増加により、その危険度は増している。</li> <li>・リニア駅などを含め、20年後、50年後を想定した計画をコツコツ行っていく必要がある。</li> <li>・具体的には、河川改修、堤防の強靱化、浸水地区の高層化などに加え、堤防上部の河川公園化やそれに伴う自動車専用道の整備など甲府盆地の環境整備を含めた施策が必要。</li> </ul>	1	<p>【記述済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略5快適「やまなし」構築戦略の政策2「災害に強い強靱な県土づくり」において、大規模自然災害への対策として、道路や土砂災害防止施設の整備、河川の改修、農業生産基盤の整備、治山施設や森林の整備などを進めることとしております。</li> <li>・なお、具体的な施策のご提案については、本政策に関連する施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
30	発災時の連携と情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万一発災した時には消防、警察、自衛隊、さらに国の防災部門などの危機管理部門との関係が重要であり、広く住民に情報を提供するテレビ、ラジオ、新聞など、マスコミ対応も重要事項。</li> </ul>	1	<p>【記述済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章3計画の推進において、この計画の推進に当たっては、関係機関を含めた多様な主体とのパートナーシップにより取り組んで行くこととしております。</li> </ul>
31	コミュニティの再構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会だけでなく、スポーツクラブ、文化倶楽部、自治防災組織、ボランティアグループ、NPO等の組織も繋がっている新しいコミュニティが平常時、災害時を含めて重要となる。</li> <li>・人口減、高齢化、防災、多様な地域交流に対応するコミュニティの再構築の為の研究会を設立し、積極的にパイロット事業を実施。</li> </ul>	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略5快適「やまなし」構築戦略の政策3「良好な生活環境と地域を支えるコミュニティづくり」において、快適な生活環境の創出・維持のためには、人と人がつながり、日常生活の場となる地域コミュニティの活性化が重要であるとしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。</li> </ul>
その他				
32	主な部門計画の記載項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な部門計画に記載された項目と、政策の項目立てを一致させるような方法が良い。</li> <li>・できるだけ「カタカナ」は使わず、漢字、ひらがなが日本本来の記述方法だと思う。</li> </ul>	1	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策体系は、本計画で目指す姿を実現するために何をしていくか、という視点から整理しております。一方、主な部門計画に記載された計画は、関連が強い戦略ごとに整理してありますが、複数の戦略に関わる内容を含んでいるものもあります。そのため、両者の項目立てと一致させることはできません。</li> <li>・なお、表現については、仮名表現を含め、県民の皆様によりわかりやすい表現となるよう留意しております。</li> </ul>
33	パートナーシップの組織作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーマンを選定し、事務局が素案を考えるのではなく、実際に業務、問題点に精通したワーキンググループが突っ込んだ議論や研究の上、具体的な施策を提案できるパートナーシップが必要。</li> </ul>	1	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章3(1)多様な主体とのパートナーシップにおいて記載したように、多様な主体が、それぞれの役割を果たしながら、互いに連携して取り組むこととしており、そのため、現在の課題認識や新たな施策の実施のための意見交換を積極的に行っていきます。</li> </ul>

No.	項目	意見の内容(概要)	意見数	県としての考え方
34	学生の意見の取り入れ	・山梨県では、高校生や大学生など、学生から直接意見を言えるような場所が少ない。 ・県民意識調査では不十分であり、教育などの問題を考える場合においては実際に教育を受けている学生から話を聞くべきで、そのよう場を作るべき。	1	【実施段階検討】 ・第3章アクションプラン2行財政改革の取り組みの取組1「スマート自治体の構築と課題解決のためのチャレンジの実践」において、現在の課題認識や新たな施策の実施のための意見交換を積極的に行っていくこととしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
35	具体的な行財政改革の内容	・行財政改革の取り組みに記載されているのが2項目のみであり、人口減少にともなう正職員数の見直し、資質向上などについても記載すべき。	1	【実施段階検討】 ・第3章アクションプラン2行財政改革の取り組みの取組2「持続可能な行財政運営」において、新たな課題に柔軟に対応するための人材育成・組織体制づくりに取り組むこととしていますので、そのための施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
36	山梨連邦という発想	・広域に政策の広がりが必要となっており、未来の広域圏構想にもつながり、行政の効率化にも役に立つため、山梨県を、甲府市、峡東、峡南、峡北、郡内、国中に分け、県と連携する方式、山梨連邦という発想を取り入れてはどうか。	1	【反映困難】 ・本計画の推進にあたっては、第3章3計画の推進に記載したとおり、県民はもちろん、市町村、関係団体、民間企業、NPO、教育・研究機関などの多様な主体と連携しながら取り組んで行くこととしています。 ・広域的な広がりを持つ課題についても、複数の市町村と連携するなど、現在の地方自治制度の中で適切な連携を図っていきます。
37	常設の企画調整実行セクションの必要性	・この総合計画を継続的に具体化するため、実効的なワーキンググループを持つ常設の企画調整実行セクションが必要。	1	【記述済み】 ・第3章3計画の推進の(4)「計画の進捗状況の管理」に記載したとおり、各施策を担当する部局において、その達成状況について確認、分析するとともに、総合政策部においてとりまとめを行うこととしています。
38	総合計画の評価と情報公開	・一定期間(例えば5年間)を一区切りとして、この「総合計画」の進捗状況を把握し、それを客観的に評価し、さらに必要な改善、指導等の措置を行うことが望まれる。 ・広報誌や県のホームページなどの利活用した時期を逸しない速やかな情報公開活動が大事。	1	【記述済み】 ・第3章3計画の推進の(4)「計画の進捗状況の管理」に記載したとおり、毎年度、各施策事業の実施状況や成果を把握し、計画の進捗状況を総合的に評価、施策事業等の改善・見直しにつなげていくとともに、県ホームページを通じて、広く公表することとしています。
39	部会運営の方法	・パブリックコメントに先立って総合計画審議会での意見交換を行っているのであれば、県民によるパブリックコメント提出の意味が薄れてしまう恐れがある。	1	【その他】 ・総合計画の素案について、総合計画審議会でお聞きした意見もパブリックコメントでお聞きした意見も、同様に計画をより良いものとするために反映させていただいており、県民の皆様の御意見をいただく意味が薄れるようなことはないと考えております。

【修正加筆等意見反映】	2
【記述済み】	7
【実施段階検討】	18
【反映困難】	2
【その他】	10
	39